

2014 秋卒業式学長式辞

卒業、修了おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

皆さんは入学以来、勉学だけでなく色々な分野で人よりも多くの人生体験を積み、今日の日を迎えられたことと思います。困難を乗り越えて自分の道を進んできたこの経験を社会貢献そして自己実現に活かせるよう、これからしっかり頑張っておきたいと思っております。

グローバル化した現在の社会では多様な人間に対応出来るフレキシブルな感性が必要になります。日本にいても外国人との交流はいくらでも出来ます。人種が違っていても考えていることは人間みな同じなのだということが理解できれば会話も自ずと出来る様になります。英語が出来ないからと尻込みする必要はありません。まずは度胸です。お互いが分かり合おうとしていけば必ず通じます。異文化を理解するためにはまず日本の歴史、文化を学ぶことが必要です。是非、これから本当の意味の教養を深めてグローバルな感性を養うと共に、常に好奇心を持って新しいことを学ぶことに挑戦して下さい。新しい発見というのは学んだり体験した多くのことを違う視点から組み合わせることが出来て初めて可能になるものです。これがまさにイノベーションです。マニュアル的な「How to」ばかりでなく、いつも「Why、なぜ？」という原因を追究する気持ちを忘れないことが大事です。

これから社会に出ると学生時代とは違って様々な課題や困難に直面することだと思います。その時に頼りになるのが同窓会の先輩です。島根大学では各学部同窓会を横断的にまとめて同窓会連合会を立ち上げています。昨年3月には東京の有楽町の朝日ホールで「古代出雲文化フォーラム」を島根大学として初めて開催し、また今年の春には広島で開催し大盛況でしたが、これも同窓会連合会のパワーのおかげでした。来年3月には大阪で開催予定です。社会に出て困ったときに親身になって助けてくれるのは同窓会の先輩です。是非、皆さんも同窓会に入って、この人脈を活用して頂きたいと思っております。皆さんの今後の活躍を祈って式辞とさせていただきます。本日はおめでとうございます。

平成 26 年 9 月 26 日
島根大学長 小林祥泰